

【 2001年 サケ捕獲状況 】

最終捕獲数	~12月9日	96263
-------	--------	-------

日付	9月		日付	10月		日付	11~12月	
	捕獲数	累計		捕獲数	累計		捕獲数	累計
~8月31日	627	627	10月1日	3,157	24,755	11月1日	567	87,587
9月1日	0	627	2日	4,770	29,525	2日	1,169	88,756
2日	17	644	3日	1,562	31,087	3日	0	88,756
3日	0	644	4日	666	31,753	4日	0	88,756
4日	86	730	5日	577	32,330	5日	784	89,540
5日	85	815	6日	939	33,269	6日	1,030	90,570
6日	127	942	7日	1,923	35,192	7日	762	91,332
7日	116	1,058	8日	1,751	36,943	8日	0	91,332
8日	1,791	2,849	9日	2,184	39,127	9日	462	91,794
9日	976	3,825	10日	2,951	42,078	10日	0	91,794
10日	1,546	5,371	11日	5,036	47,114	11日	0	91,794
11日	542	5,913	12日	10,660	57,774	12日	200	91,994
12日	0	5,913	13日	3,302	61,076	13日	300	92,294
13日	0	5,913	14日	210	61,286	14日	363	92,657
14日	732	6,645	15日	1,509	62,795	15日	0	92,657
15日	188	6,833	16日	1,010	63,805	16日	73	92,730
16日	566	7,399	17日	2,053	65,858	17日	0	92,730
17日	1,546	8,945	18日	1,389	67,247	18日	123	92,730
18日	654	9,599	19日	827	68,074	19日	42	92,895
19日	767	10,366	20日	893	68,967	20日	0	92,895
20日	1,258	11,624	21日	1,294	70,261	21日	0	92,895
21日	495	12,119	22日	1,480	71,741	22日	222	93,117
22日	1,559	13,678	23日	1,945	73,686	23日	0	93,117
23日	515	14,193	24日	2,224	75,910	24日	0	93,117
24日	1,696	15,889	25日	1,369	77,279	25日	0	93,117
25日	1,062	16,951	26日	2,150	79,429	26日	395	93,512
26日	402	17,353	27日	1,073	80,502	27日	0	93,512
27日	1,055	18,408	28日	995	81,497	28日	0	93,512
28日	1,073	19,481	29日	3,152	84,649	29日	334	93,846
29日	1,171	20,652	30日	1,457	86,106	30日	0	93,846
30日	946	21,598	31日	914	87,020	12月1日	699	94,545
						2日	0	94,545
						3日	667	95,212
						4日	329	95,541
						5日	314	95,855
						6日	130	95,985
						7日	111	96,096
						8日	101	96,197
						終了 9日	66	96,263

2001年サケ捕獲数減少に関する若干のコメント

千歳川における2001年のサケ捕獲数は、近年希にみる少ない状況で終了いたしました。色々のご心配なさっている皆さんも多いと思われる中、その理由に関するコメントを掲載せず、申し訳ありませんでした。

実は捕獲数が少なかった理由については「よくわからない」というのが本音です。2000年も減少傾向にあったのですが、2000年の場合とはっきり異なるのは、2000年はサケの捕獲量全体が減ったのに対し、今回は北海道全体の傾向としては決して減少しているわけではなく、この減少は日本海の千歳川に限ったものであるということです。もし北洋海域等で何かダメージを受けたのであれば、全体の数が減ってしかるべきです。つまりサケの母川回帰性を考えたとき、4年前に放流された千歳川のサケの稚魚のみに、何らかのダメージがあったと考えるのが自然です。

このダメージがいったい何によるものであったのかが、正直よくわからないのです。独立行政法人さけ・ます資源管理センターでは、放流時の日本海の沿岸海水温が高かったため、稚魚にダメージがあったのではないかという見解を示しておられますが、これだけで今回の減少の理由とするのは、少々難しいと思われれます。もう一つ考えられるのは、放流用稚魚に病気等のダメージがあったということですが、これもそのような記録はないようです。

今年はどうなるのだろうか、影響は続くのだろうか、ご心配の方もいらっしゃると思いますが、こればかりは今のところ何とも言えません。ただ、2001年の捕獲数はかなり特殊なものだとも思われ、今後こうした傾向がずっと続くとは考えにくいと思われれます。

今年以降の状況を見ることで、今回の現象についても更に詳しい説明が付くかも知れませんが、広く海洋を旅するサケの生態は、未だ多くの謎に包まれています。解明できない部分もある旨、ご了承下さい。また、自説をお持ちの方がいらっしゃれば、ぜひふるさと館までお知らせ願いたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。（学芸員 菊池基弘）